



[HEART BREAKER]

kabuki-man

捕らわれた○ジーナを救うべく

廃墟と化した王国に乗り込んだハー○達



そして仲間の協力により

敵の猛攻を潜り抜けたハー○は

ついに○ジーナの元へ辿り着く



絡みつく糸を外していると

突如背後から現れた大きな影

クモ○コチューが

ハー○に飛びかかり牙を突き立てる！

腹部へ刺し込まれた二つの牙から
体内へじわじわと毒液が注ぎ込まれる

ズクゾクゾク!

ズク

ズク

ズク

びく

びく

逃げ出そうともがくが
毒が回ると共に体中の力が抜け
自由が奪われる……!!



体内にたつぷりと毒液を注ぎ込まれた
激しく体を痙攣させるハートの体だ



それでもなお、持ち前の気力で
必死に立ち上がろうとするが
そこへベアーが現れ
○ジーナを縛る糸を掴む…



カッ



カッ



火口へと投げ入れられた○ジーナ
ハー○は力を振り絞り、間髪で糸を掴む



だが体に回った毒は
じわじわと確実に力を奪い
目は瞼み、指の力は抜けていく……

後は○ジーナの体を引き上げるだけ、
たったそれだけの容易い事だと言うのに
体は言う事を聞かず、力が抜けていく
悔しさのあまり涙が頬を伝う

何か手は無いかと
必死に考えを巡らせる彼女を踏み躪り
廃墟と化した王国に勝ち誇った高笑いが響く……



糸を離すまいと

必死に耐える事しか出来ない彼女を

ペー〇の指が弄ぶように掻き回す

異性に見せた事の無い場所に

乱暴に押し入ってくる指に声が漏れる



毒のしびれによる脱力感、

そして容赦無く攻め立てられる

指によって相まった快樂に声が上がリ

火口から立ち昇る熱気の中、
濡れた音が激しく響く



今までに味わったことのない、
自らの状況を忘れる程の快感に包まれ
体を震わせ絶頂に達するハロー

そして…





ゆつくりと火口の中へ消えて行く○ジーナ

追いつがる様に手を伸ばすハー○を引き寄せ

ペー○は耳元で囁く

「手を離したのはお前だ。

お前がやったのだ……!」



大切な人を救えなかった絶望、
そして体に回った毒により
身も心も折れて行くハロー

ん

もはや抵抗する力すら無く
砕けた心は黒く染まって行く……



人形のように力なく崩れ
慰み者にされるハロー

これまでの雪辱を晴らし
勝利の余韻に浸りながら
ハローは彼女の体を弄ぶ



その光景は

敵の大群と交戦していた仲間達の上空に
突然突き付けられる。



信じがたい光景に衝撃を受け
戦意を失い、膝をつく仲間達…





敵の包囲を突破し
救出へ向かおうとする仲間達
しかしハー○の無残な姿を
見せ付けられた事による絶望の影は大きく
一人また一人と力尽きて行く…



次から次へと現れる

カエル○コチユ一の群れに飲まれ

水中へと引き込まれるダイ○

いつもならば簡単に

跳ね除けられるはずの相手だが

彼女にとつての希望が絶え

心が挫けてしまった今、

ただ力なく飲み込まれて行く



もはや抵抗するだけの気力も失い

うつろな目で赤黒く染まった空を見るダイ○

彼女の折れた心はカエル○コチユウの舌に蹂躪され
押しつぶされていく……

折れた心に止めを刺すように
水中から現れたイカ○コチューの
触手の群れがダイ○を襲う。

穴と言う穴は掻き回され、
やがて意識は遠のき
砕けた心が黒く染まって行く……



傷ついたソー○を守り、戦う○ゼッタ
だが何度倒しても次から次へと現れ、
襲い掛かって来る○コチューの群れに
確実に追い詰められて行く

「ここで自分が倒れる訳には行かない……！」
必死に攻撃を受け止めるが
バリアは悲鳴を上げ、限界が近づく……





そしてついに力尽き、捕らえられた○ゼツタ。
まるで玩具を欲しがるように伸ばされる
ゴリラ○コチュー達の手によって引き裂かれる！



自分が非力な雌である事を思い知らされ
悔しさに涙しながら貫かれる瞬間を待つ

幼い頃より鍛え上げてきた体と技も
圧倒的な暴力の前では通用しないのだと言う
無力感を味わい、震える○ゼツタの体に
ゴリラ○コチューのペ○スが強引にねじ込まれる

ゴリラ○コチューの群れに

貪るように貫かれる○ゼツタ

自己中に何度も突き上げられ

砕けた心は黒く染まり

もはや声にならない叫びが響く















あ...

あ...

あ...

ズン

ズン

ズン

















